

令和3年社会生活基本調査結果 静岡県の概要

コロナ禍で生活行動や生活時間も変化

デジタル戦略局 統計調査課

はじめに

このたび、令和3年社会生活基本調査結果の静岡県の概要を取りまとめました。

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和51年以来5年ごとに実施しています。

令和3年社会生活基本調査は、指定調査区に居住する約91,000世帯（静岡県は約1,900世帯）の10歳以上の世帯員を対象に令和3年10月20日現在で実施され、総務省統計局から令和4年8月に「生活時間及び生活行動に関する結果」が公表されました。

詳細は、県庁ホームページの「統計センターしずおか」(<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>)でもご覧いただけます。

I 生活行動に関する結果

過去1年間（令和2年10月20日～令和3年10月19日）の主な生活行動（「学習・自己啓発・訓練」「ボランティア活動」「スポーツ」「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」）に該当する活動の状況に関する結果である。

1 生活行動別の行動者数と行動者率

5つの生活行動では、「学習・自己啓発・訓練」以外の4つの項目で、5年前より行動者数、行動者率ともに減少した。（表1）

表1 「生活行動」の行動者数と行動者率(令和3年・平成28年)

	令和3年		平成28年		令和3年 - 平成28年	
	行動者数 (千人)	行動者率 (%)	行動者数 (千人)	行動者率 (%)	行動者数 (千人)	行動者率 (ポイント)
学習・自己啓発・訓練	1182	36.5	1097	33.3	85	3.2
ボランティア活動	614	18.9	967	29.4	-353	-10.5
スポーツ	2149	66.3	2247	68.2	-98	-1.9
趣味・娯楽	2759	85.1	2852	86.6	-93	-1.5
旅行・行楽	1339	41.3	2421	73.5	-1082	-32.2

行動者数

過去1年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数

行動者率

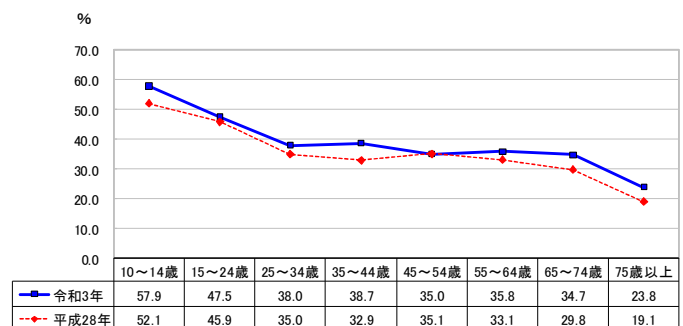
10歳以上人口(推定324万1千人)に占める行動者数の割合(%)

(1) 学習・自己啓発・訓練

何らかの「学習・自己啓発・訓練」を行った人は118万2千人で、行動者率は36.5%となっている。前回調査（平成28年）では、それぞれ109万7千人、33.3%であり、8万5千人増加し、3.2ポイント上昇している。

年齢階級別にみると、10～14歳の行動率が57.9%と最も高く、ついで15～24歳が47.5%、25歳から74歳は30%台で推移している。10～14歳と35～44歳は前回より5.8ポイント上昇している。（図1-1）

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の<年齢階級別> 行動者率 (令和3年・平成28年)

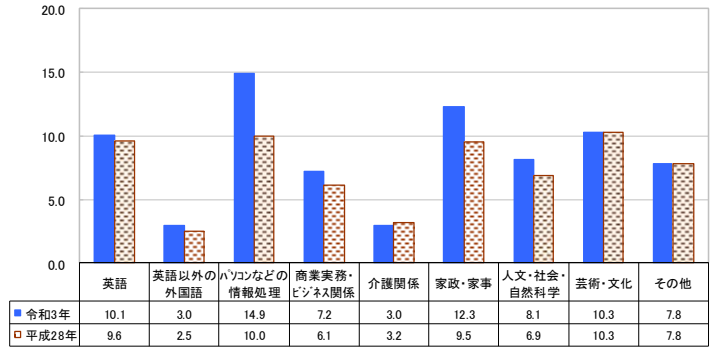


種類別に行動者率をみると、「パソコンなどの情報処理」の14.9%が最も高く、次いで「家政・家事」が12.3%、「芸術・文化」が10.3%となっている。

前回調査と比べると、「パソコンなどの情報処理」が4.9ポイント上昇、「家政・家事」が2.8ポイント上昇などとなっている。

(図1-2)

図1-2 「学習・自己啓発・訓練」の<種類別> 行動者率 (令和3年・平成28年)

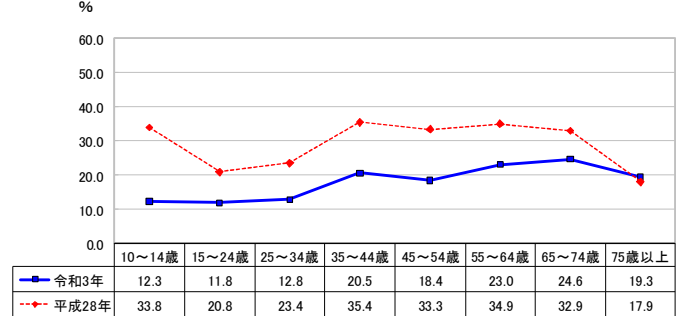


(2) ボランティア活動

何らかの「ボランティア活動」を行った人は61万4千人で、行動者率は18.9%となっている。前回調査では、それぞれ96万7千人、29.4%であり、35万3千人減少し、10.5ポイント低下した。

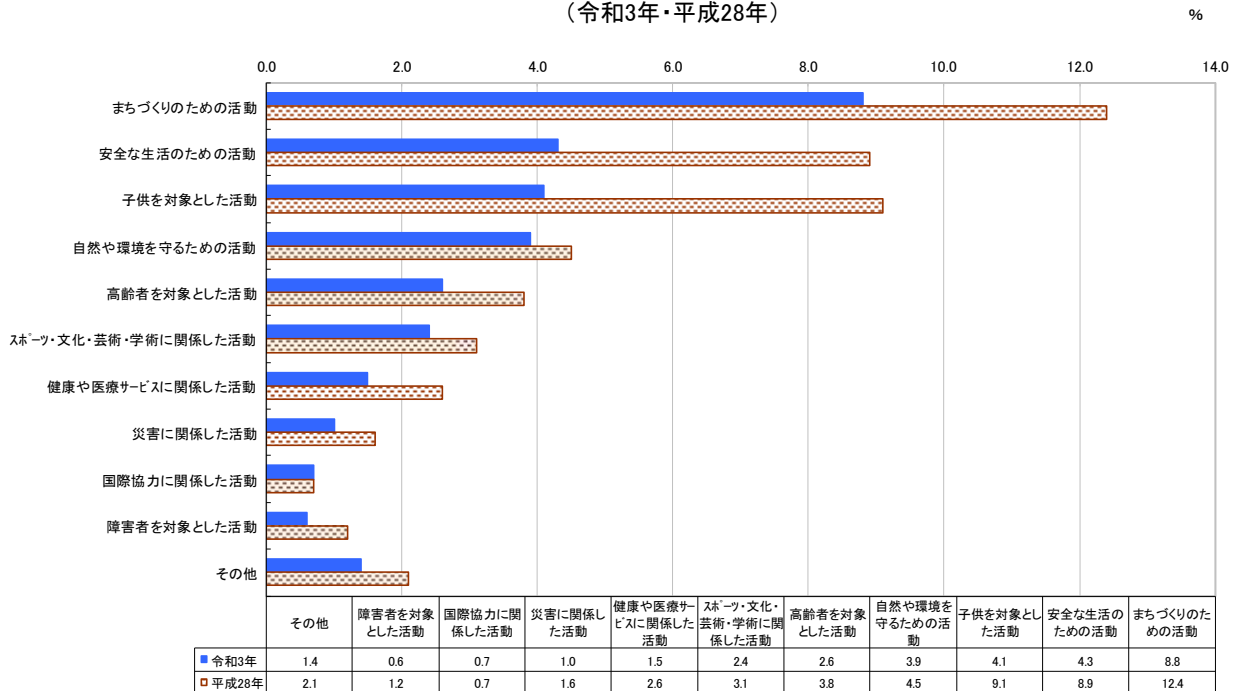
前回調査と比べると75歳以上を除くすべての年齢階級で低下しており、10～14歳では21.5ポイント、35～44歳と45～54歳では14.9ポイント低下した。(図2-1)

図2-1 「ボランティア活動」の<年齢階級別> 行動者率 (令和3年・平成28年)



種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が8.8%と最も高い。次いで「安全な生活のための活動」が4.3%、「子供を対象とした活動」が4.1%となっている。(図2-2)

図2-2 「ボランティア活動」の<種類別> 行動者率 (令和3年・平成28年)

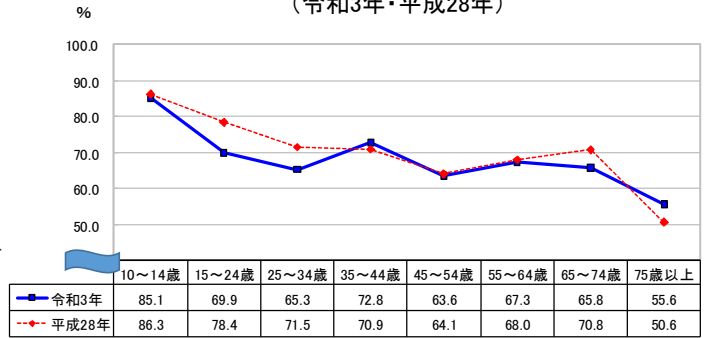


(3) スポーツ

何らかの「スポーツ」を行った人は214万9千人で、行動者率は66.3%となっている。前回調査では、それぞれ224万7千人、68.2%であり、9万8千人減少し、1.9ポイント低下した。

前回調査と比べると35～44歳と75歳以上で上昇したが、他の年齢階級では低下した。
(図3-1)

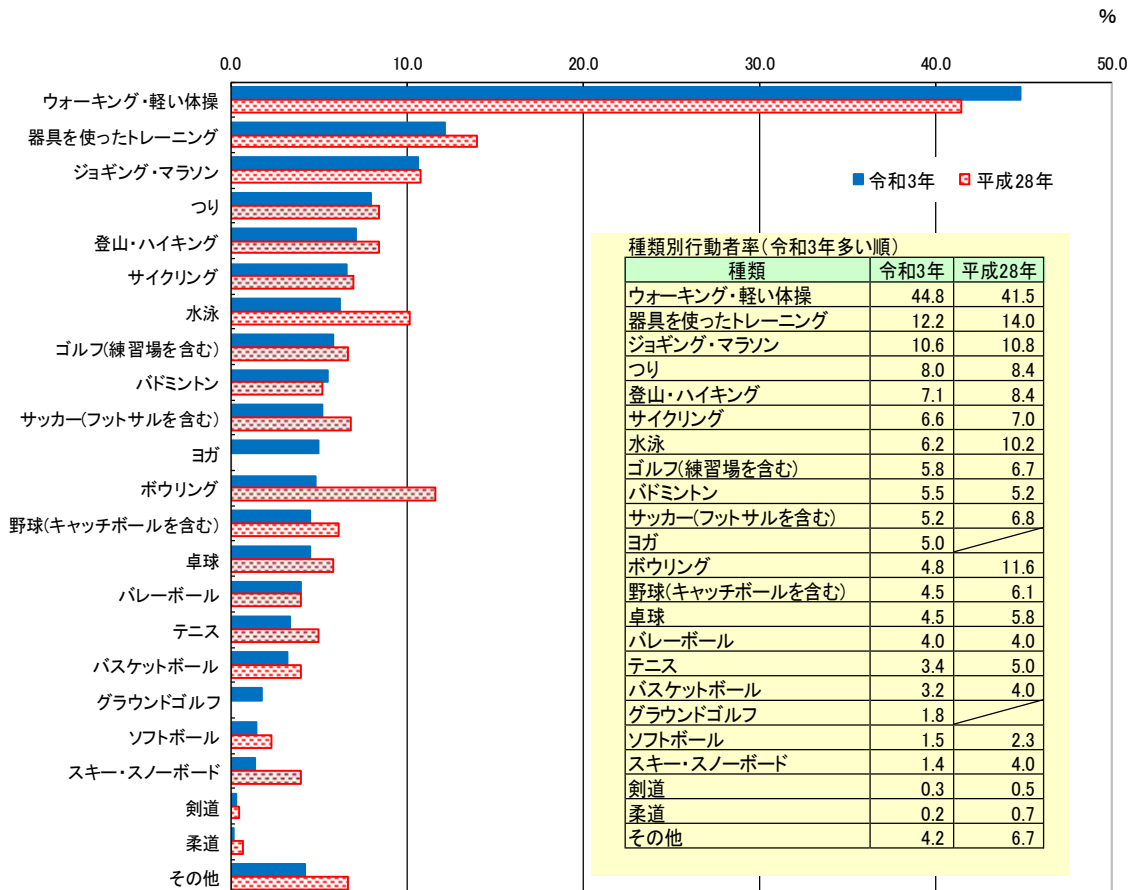
図3-1 「スポーツ」の<年齢階級別> 行動者率
(令和3年・平成28年)



種類別にみると、「ウォーキング・軽い体操」が44.8%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」の12.2%、「ジョギング・マラソン」の10.6%の順となっている。

前回調査と比べると、「ウォーキング・軽い体操」が3.3ポイント、バドミントンが0.3ポイント上昇となった以外はすべて低下となった。中でも「ボウリング」は6.8ポイント、「水泳」は4.0ポイントと低下幅が大きかった。(図3-2)

図3-2 「スポーツ」の<種類別> 行動者率(令和3年・平成28年)



(4) 趣味・娯楽

何らかの「趣味・娯楽」を行った人は275万9千人で、行動者率は85.1%となっている。前回調査では、それぞれ285万2千人、86.6%であり、9万3千人減少し、1.5ポイント低下した。

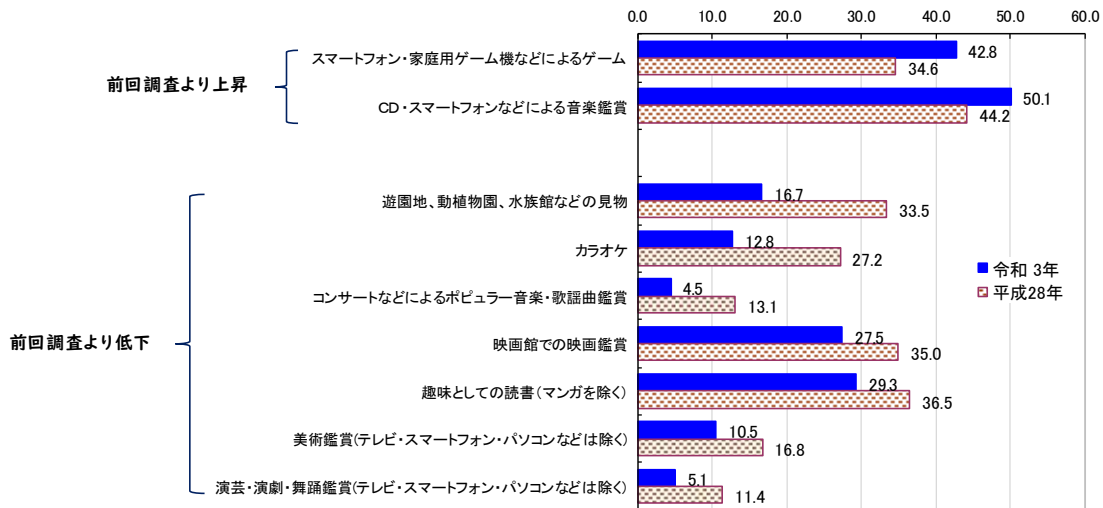
年齢階級別に上位の種類をみると、すべての年齢階級で「CD、スマートフォンなどによる音楽鑑賞」と「映画館以外での映画鑑賞」が上位に入っている。(表2)

表2 年齢階級別の上位の種類(令和3年)

	1位	2位	3位	4位	5位
10～14歳	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	マンガを読む	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	映画館での映画鑑賞
15～24歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	マンガを読む	映画館での映画鑑賞
25～34歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	マンガを読む	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	映画館での映画鑑賞
35～44歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	マンガを読む	映画館での映画鑑賞
45～54歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	マンガを読む	趣味としての読書(マンガを除く)
55～64歳	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	園芸・庭いじり・ガーデニング	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	趣味としての読書(マンガを除く)
65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	趣味としての読書(マンガを除く)	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム
75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	趣味としての読書(マンガを除く)	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	編み物・手芸

前回調査と比べて大きく変動したものは「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」が8.2ポイント、「CD、スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が5.9ポイント上昇した。一方、「遊園地、動植物園、水族館などの見物」が16.8ポイント、「カラオケ」が14.4ポイント、「コンサートなどによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞」が8.6ポイント低下などとなった。(図4)

図4 「趣味・娯楽」の<種類別>行動者率 <<前回調査からの変動が大きかった種類>> %



(5) 旅行・行楽

何らかの「旅行・行楽」を行った人は133万9千人で、行動者率は41.3%となっている。前回調査では、それぞれ242万1千人、73.5%であり、108万2千人の減少、32.2ポイントの低下となった。

すべての年齢階級で前回調査より大幅に低下しており、10～14歳と65～74歳では37.0ポイント低下となり、種類別でも行楽(日帰り)が23.2ポイント、国内(観光旅行)が28.3ポイントの低下となるなど、すべての種類で低下した。(図5-1、5-2)

図5-1 「旅行・行楽」の<年齢階級別>行動者率 (令和3年・平成28年)

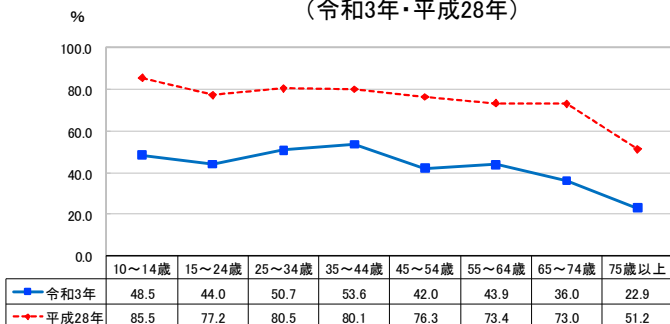
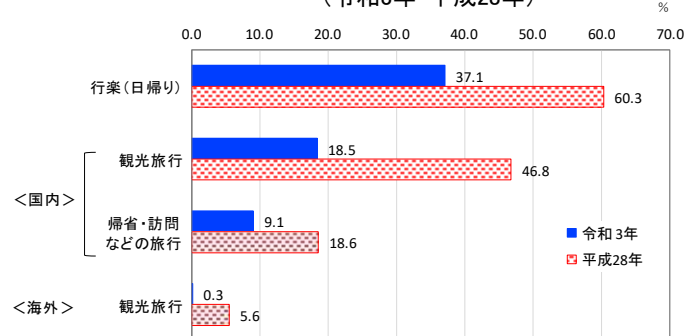


図5-2 「旅行・行楽」の<種類別>行動者率 (令和3年・平成28年)



II 生活時間に関する結果

1日の行動を20種類に分類し、それを3つの活動にまとめて時間帯別の行動状況を調査した結果である。(20種類の行動については表3を参照)

なお、以下では特に断りのない限り、10歳以上の人の週全体(週全体平均)の総平均時間(該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均)を記載している。

1次活動 … 生理的に必要な活動

2次活動 … 社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3次活動 … 1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

1 1日の生活時間

(1) 1日の生活時間の配分

1日の生活時間(週全体の平均時間)をみると、1次活動時間が10時間54分、2次活動時間が6時間43分、3次活動時間が6時間23分となっている。前回調査と比べると、1次活動時間は16分の増加、2次活動時間は6分の減少、3次活動時間は10分の減少となった。(表3)

表3 男女別・活動の種類別生活時間(令和3年・平成28年) 一週全体一

(単位:時間・分)

行動の種類	総数			男			女		
	令和3年	平成28年	増減	令和3年	平成28年	増減	令和3年	平成28年	増減
1次活動	10.54	10.38	0.16	10.48	10.33	0.15	10.59	10.43	0.16
睡眠	7.49	7.38	0.11	7.56	7.44	0.12	7.43	7.32	0.11
身の回りの用事	1.26	1.22	0.04	1.16	1.13	0.03	1.36	1.31	0.05
食事	1.39	1.38	0.01	1.36	1.36	0.00	1.41	1.40	0.01
2次活動	6.43	6.49	-0.06	6.28	6.31	-0.03	6.59	7.06	-0.07
通勤・通学	0.27	0.29	-0.02	0.34	0.36	-0.02	0.20	0.22	-0.02
仕事	3.25	3.31	-0.06	4.25	4.36	-0.11	2.27	2.28	-0.01
学業	0.39	0.41	-0.02	0.37	0.39	-0.02	0.41	0.44	-0.03
家事関連	2.11	2.07	0.04	0.53	0.40	0.13	3.31	3.33	-0.02
家事	1.32	1.23	0.09	0.26	0.16	0.10	2.38	2.29	0.09
介護・看護	0.02	0.03	-0.01	0.03	0.02	0.01	0.02	0.05	-0.03
育児	0.11	0.17	-0.06	0.05	0.06	-0.01	0.17	0.27	-0.10
買い物	0.26	0.24	0.02	0.19	0.16	0.03	0.34	0.32	0.02
3次活動	6.23	6.33	-0.10	6.44	6.56	-0.12	6.02	6.11	-0.09
移動(通勤・通学を除く)	0.20	0.29	-0.09	0.19	0.28	-0.09	0.21	0.29	-0.08
自由時間	5.31	5.22	0.09	5.58	5.49	0.09	5.07	4.59	0.08
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.21	2.21	0.00	2.27	2.25	0.02	2.15	2.18	-0.03
休養・くつろぎ	1.59	1.36	0.23	2.03	1.40	0.23	1.55	1.33	0.22
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.09	0.15	-0.06	0.09	0.16	-0.07	0.10	0.13	-0.03
趣味・娯楽	0.47	0.49	-0.02	1.00	1.02	-0.02	0.35	0.38	-0.03
スポーツ	0.13	0.14	-0.01	0.16	0.17	-0.01	0.10	0.11	-0.01
ボランティア活動・社会参加活動	0.02	0.07	-0.05	0.03	0.09	-0.06	0.02	0.06	-0.04
交際・付き合い	0.10	0.15	-0.05	0.07	0.15	-0.08	0.13	0.16	-0.03
受診・療養	0.07	0.08	-0.01	0.06	0.06	0.00	0.07	0.10	-0.03
その他	0.15	0.18	-0.03	0.15	0.19	-0.04	0.15	0.17	-0.02

(2) 年齢階級別の生活時間

年齢階級別にみると、1次活動時間は男女とも75歳以上が最も長く(男性12時間11分、女性12時間5分)、最も短かったのは、男性35~44歳(10時間20分)、女性55~64歳(10時間11分)であった。

2次活動時間は最も長かったのは、男性25~34歳(8時間16分)、女性45~54歳(8時間42分)、男女とも75歳以上が最も短かった(男性2時間29分、女性3時間45分)。

3次活動時間は男女とも75歳以上が最も長く（男性9時間20分、女性8時間9分）、最も短かったのは、男性25～34歳と45～54歳（5時間23分）、女性35～44歳（4時間25分）であった。

（表4） 表4 年齢階級別の生活時間 一週全体一

		総平均時間（時間・分）											
		睡眠	身の回りの 用事	食事	通勤・ 通学	仕事	学業	家事関連	自由時間	その他	1次活動	2次活動	3次活動
男	総数	7.56	1.16	1.36	0.34	4.25	0.37	0.53	5.58	0.47	10.48	6.28	6.44
	10～14歳	8.36	1.06	1.31	0.33	0.00	5.36	0.11	5.39	0.47	11.13	6.21	6.26
	15～24歳	8.11	1.11	1.19	0.54	2.41	2.56	0.18	5.42	0.49	10.41	6.50	6.29
	25～34歳	8.01	1.02	1.17	0.50	6.40	0.03	0.42	4.45	0.39	10.21	8.16	5.23
	35～44歳	7.42	1.10	1.27	0.38	6.25	0.06	0.57	4.49	0.47	10.20	8.05	5.35
	45～54歳	7.37	1.17	1.28	0.44	6.50	0.01	0.40	4.33	0.50	10.22	8.14	5.23
	55～64歳	7.20	1.27	1.39	0.31	5.17	0.02	1.01	6.01	0.43	10.26	6.51	6.43
	65～74歳	7.58	1.18	1.53	0.21	3.02	0.02	1.09	7.33	0.47	11.08	4.33	8.19
75歳以上	8.43	1.24	2.03	0.04	0.59	0.00	1.25	8.18	1.01	12.11	2.29	9.20	
女	総数	7.43	1.36	1.41	0.20	2.27	0.41	3.31	5.07	0.56	10.59	6.59	6.02
	10～14歳	8.24	1.13	1.25	0.30	0.00	6.08	0.18	5.37	0.25	11.03	6.55	6.02
	15～24歳	7.59	1.36	1.32	0.49	2.14	3.50	0.33	4.30	0.57	11.07	7.26	5.27
	25～34歳	8.16	1.41	1.27	0.30	3.46	0.05	3.07	3.48	1.19	11.25	7.28	5.07
	35～44歳	7.45	1.42	1.29	0.22	3.53	0.02	4.22	3.40	0.46	10.56	8.40	4.25
	45～54歳	7.03	1.37	1.36	0.25	4.05	0.04	4.08	4.11	0.49	10.17	8.42	5.01
	55～64歳	7.03	1.28	1.40	0.22	3.07	0.01	4.21	5.02	0.57	10.11	7.50	5.59
	65～74歳	7.24	1.35	1.52	0.09	1.33	0.01	4.32	5.53	0.59	10.51	6.15	6.54
75歳以上	8.26	1.38	2.01	0.02	0.18	0.01	3.24	7.13	0.55	12.05	3.45	8.09	

2 スマートフォン・パソコンなどの使用状況

使用した人の割合

スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合は69.9%で、男性は72.5%、女性は67.3%となっており、20～24歳の使用割合が男性98.7%、女性93.0%で、それぞれ最も高い。

前回調査と比べると、60歳以上の各年齢階級で20ポイントを超える上昇、特に65～69歳では43.0ポイント上昇している。男女別でも65～69歳の使用割合が最も伸びており、男性は38.5ポイント、女性は47.3ポイント上昇している。（表5）

表5 男女別、年齢階級別スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合（令和3年・平成28年）

割合（%）	総数			男			女		
	令和3年	平成28年	R3-H28	令和3年	平成28年	R3-H28	令和3年	平成28年	R3-H28
総数	69.9	57.2	12.6	72.5	59.2	13.3	67.3	55.3	12.0
10～14歳	60.6	53.3	7.3	57.3	46.5	10.8	62.8	60.5	2.3
15～19歳	85.9	85.6	0.3	85.7	87.8	-2.1	86.1	83.3	2.7
20～24歳	95.3	85.9	9.4	98.7	78.1	20.6	93.0	94.2	-1.2
25～29歳	88.3	86.8	1.5	89.5	83.5	6.0	88.2	90.4	-2.2
30～34歳	84.2	88.0	-3.8	87.1	86.5	0.6	81.0	89.6	-8.6
35～39歳	82.8	86.7	-3.9	78.1	83.6	-5.5	87.8	89.9	-2.2
40～44歳	81.5	82.5	-1.0	81.2	79.4	1.8	81.8	85.7	-3.9
45～49歳	78.8	75.5	3.4	79.4	75.7	3.7	78.2	75.2	3.0
50～54歳	79.8	73.8	6.1	83.6	75.7	7.9	76.0	71.2	4.8
55～59歳	77.7	59.4	18.3	80.5	57.1	23.4	74.8	62.2	12.6
60～64歳	74.9	45.3	29.6	73.4	47.5	25.9	76.4	43.1	33.3
65～69歳	74.5	31.5	43.0	77.4	38.9	38.5	71.7	24.4	47.3
70～74歳	54.6	17.7	36.9	53.7	23.1	30.6	54.4	12.9	41.4
75歳以上	29.5	7.2	22.3	34.8	8.0	26.8	25.8	7.1	18.7

3 主な行動の平均時刻

都道府県別に平日の活動開始時刻をみると、静岡県の主な行動の平均時刻は全国より早く、起床時刻が6時24分で全国5位、朝食開始時刻が7時0分で全国6位、夕食開始時刻が18時40分で全国4位、また、有業者の出勤時刻は8時7分で全国4位となっている。（表6）

表6 主な行動の平均時刻 一平日一 （単位：時・分）

	静岡県	全国	全国順位 （早い順）
起床時刻	6:24	6:38	5
朝食開始時刻	7:00	7:11	6
夕食開始時刻	18:40	18:58	4
就寝時刻	22:51	23:04	20
出勤時刻 ※	8:07	8:20	4
仕事からの帰宅時刻 ※	18:12	18:34	19

注：10歳以上の人の平均時刻（※は有業者で15歳以上）